



甘沼自治会
星野さん

地域では、「甘沼版防災マニュアルの作成」「災害者要援護者安否確認・災害カードの作成」「災害時要援護者交流会の開催」などを行っています。しかし、「家屋の耐震化、家財の固定率の向上（半数以上が実施していない）」「災害者要援護者制度への登録と安否確認」「また、登録された方を誰が安否確認をするか」「さらに、現在、甘沼では49名が登録しているが、推定では、約120名が未登録である」という点を課題としています。

鶴が台団地は震度7の地震でも何とか耐えられる見込みのため“我が家が避難所”です。鶴が台団地には、2,800世帯4,800人が住んでいます。防災マニュアルは3年前に作成し、全戸に配布しています。1分1秒を争うことなので安否確認訓練（※）をもっと行い、災害時に助けられる人を増やしていきたいです。



鶴が台団地
自治会
小磯さん

※安否確認（訓練）

- ① 身の安全を確保して、出入り口を確保したら、団地北側にタオルを掲げ、「私たちは無事にしています」という表示を出す。
- ② タオルが出ていないところには、下に降りてきた元気な人達が見に行く。

■第3回ワークショップのまとめ

東京大学
生産技術研究所
加藤先生



今回出てきたアイデアを大きくまとめると、①地域・まちのことをちゃんと知る、人のことをちゃんと知り繋がる、②災害に強くなるまち・人を強くする、③災害への備えをまちの人に見えるようにする、という3点でした。

この地域の特徴は団地があることで、実は団地が大きな資源であるという見方をしてみると、また違った面が見えてくるのではないのでしょうか。次回の話合いでも考えてみてください。

中学生の皆さんの感想（アンケートより）

- 前回のまち歩きで集めた情報を自分達で深く考え、アイデアも出せたので楽しかったです。
- 普段は考えない団地のことなどを考えることが出来てよかったです。皆にこういうことを広めていきたいです。
- 地域の方や市の職員の方と話し合うことで、普段思っていたり、考えていたけど言えなかったこと、課題などを見つけることが出来たので良かったと思います。また家庭内でも話し合ってみようと思いました。

地域の方の感想

鶴が台団地には緑や頑丈な建物があるので、私達も資源として活かしていきたいと思っています。
団地には、高齢な方や障害のある方もいますので、むしろ、「中学生」が最大の地域資源です。
大人の視点だけで進めている計画のスキマを、ぜひ中学生の発想で埋めていただきたいと思います。本当に刺激を受けたワークショップでした。ありがとうございました。

■ワークショップの今後の予定 まだ参加されていない方のご参加も、お待ちしております！

回数	日付	時間	概要
第1回 (終了)	平成28年 10月23日	9:30~12:00 (150分)	加藤先生からの講演/体験学習 湘北地区防災“も”まちづくり研究所の設立式
第2回 (終了)	平成28年 12月3日	9:30~12:30 (180分)	湘北地区の市街地状況/防災“も”まち歩き
第3回 (終了)	平成29年 1月21日	9:00~12:00 (180分)	まち歩きマップを作ってみよう！/ 防災“も”まちづくりのアイデアを考えよう！
第4回	平成29年 2月25日	9:00~12:00 (180分)	アクションプログラムをつくってみよう！ 防災まちづくりワークショップのまとめ

自助（個人）・共助（地域）の視点から防災まちづくりについて考えてみませんか？

湘北地区「防災“も”まちづくりワークショップ」ニュース

Vol.3



研究室ごとに、防災“も”まちづくりのアイデアを考えました！

茅ヶ崎市では、東京大学生産技術研究所の加藤孝明准教授のご協力のもと、平成21年度から「防災都市づくりワークショップ」（今年度から「防災“も”まちづくりワークショップ」に改称）を実施し、地域のみなさんと一緒に災害に強い都市づくりを進めております。

今年度は、湘北地区のみなさんと一緒に、全4回のワークショップを実施してまいります。ワークショップでは、鶴が台中学校の生徒の方々に多く参加していただき、湘北地区のまちづくりについて考えます。

3回目の今回は、前回のまち歩きで撮影した写真やメモをもとに「防災“も”まち歩きマップ」を作成、その後、防災“も”まちづくりのアイデアについて、話し合いました。

～第3回 湘北地区「防災“も”まちづくりワークショップ」で行ったこと～

◀はじめに▶

あいさつ
前回の振り返り

◀グループワーク②▶

防災“も”まちづくりのアイデアを考えよう！

◀グループワーク①▶

まち歩きマップを作ろう

◀発表&講評▶

地域の方からの感想（参加者より）
加藤先生からのコメント

◀地域の方からのお話▶

地域の課題・取組について

◀閉会▶

次回予告

■防災“も”まちづくりのアイデアづくりの進め方

これまでのワークショップで体験したこと、まち歩きで発見した「まちの良いところ」や「課題」「地域資源」をふまえ、研究室ごとにアイデアを話し合いました。



STEP 1

- まちの「良いところ」「課題」「地域資源」をふまえた「すぐやる」取組と、時間をかけて「じっくりやる」取組のアイデアについて話し合い



STEP 2

- 各研究室からの「イチオシ企画！」（※）を発表
※出し合ったアイデアの中から、優先的に取り組んでいきたいものを各研究室から全体へ提案



以下は、主に第4回ワークショップで行います！

- 「イチオシ企画！」を実際に取り組んでいこうとした時に何をすれば良いのか検討
- その他の取り組みアイデアについても話し合い、具体的なアクションプログラムとしてまとめていく



STEP 3

■これが研究員が考えた「防災“も”まちづくりのアイデア」だ！

防災対策室 1班

良いところ	課題	取組のアイデア！
<ul style="list-style-type: none"> 地域の祭りに活発に参加 地域の人との交流がある 大きい公園が沢山ある 道路が広い（松風台） 移動式ホース格納箱がある 消火栓が沢山ある 生垣がある 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の祭りにあまり参加していない 空家や管理されない家が増加 公園が使われていない 道が狭い 防災設備のある場所を知らない人が多い ブロック塀の家が多い 道が分かりにくい迷路みたい 	<ul style="list-style-type: none"> 回覧等で地域に知らせると同時に、口コミでも知らせる 市にLED化を早急に要求する 団地の景観、自然マップを作る パーティーなど地元のお祭りやイベントで設備を普段から使ったゲームを行う もっと公園を使ってもらって、にぎやかにするためのアンケートを調査を実施する ポスターなどで防災設備の場所を伝える ブロック塀がとれそうなどところがないか点検してもらう 街灯をつけてもらう 空家を使ってもらう（文教大生のシェアハウスなど） カラス対策は網でなく蓋のある丈夫な箱にする ゴミ捨て場を全て9-8街区のようにする ブロック塀を生垣に変えていく（景観・安全性向上！）

地域資源
家庭の井戸／団地の並木道／野菜の路地販売（香川、甘沼）／空地、畑（甘沼）／歴史ある神社／消火栓

まちづくり推進室 1班

良いところ	課題	取組のアイデア！
<ul style="list-style-type: none"> 保育園の周りに消火栓などがまとまっている 太陽光を使って料理ができる（五郎兵衛パーク） 防災訓練が年4回ある（松風台） 標高が高い 太陽光でお湯を沸かせる→お風呂代わり 	<ul style="list-style-type: none"> 消火栓の文字や色があせている 南側の建物が高く北側の建物に日が当たらない（甘沼） 電柱が傾いている 移動式ホースが少ない 木造住宅が密集 道が狭く、クネクネしている 道路が劣化（道路標識） 	<ul style="list-style-type: none"> 消火器に色を塗る 火災が起きた際の恐ろしさを教えて備えよう（ポスター） 防災訓練で移動式ホースの使い方を訓練する 移動式ホースを増やす 災害が起きた時にガレキなどを撤去できる機械をつくる 道路を広くする 道路を補修する

地域資源
自治会がある（自治会館）／太陽光設備／防災倉庫／緑が多い／畑や駐車場などの広場／消火栓

地域福祉室 1班

良いところ	課題	取組のアイデア！
<p>【災害対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 消火器が色々なところにあった 災害があった時のために対策をしていた 災害時に役立つ工夫がされていた <p>【お年寄り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティアセンターで家を訪問したりしている お年寄りが生活しやすい環境がある 	<p>【災害】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道がボコボコしてる 消火器の色が薄い ブロック塀は地震の時に崩れてくるから危ない <p>【普段の生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> まちの中に休める場所がほしい 小中学生が遊べる場所が少ない 公衆トイレ 無料駐車場がほしい 駄菓子屋がほしい スーパーが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 消火器を目立たせる（色と場所） 目立つポスターづくり&掲示板づくり ボランティアが困っている人の相談にのる 自分から挨拶する 普段から誰がどこに住んでいるか知っておく 道路整備をする 避難訓練をもっとやる（キャンプ体験） 高いブロック塀を低くする

地域資源
名店街／公園／消火器／学校（中学校小学校）／ボランティアセンター／防災倉庫／中学生／掲示板

防災対策室 2班

まちづくり推進室 2班

地域福祉室 2班

ミッション① 地域福祉室
鶴が台団地の『お山の公園』には、隠された機能がある。どのような機能が、あるか確認し、使い方をマスターせよ。

ミッション② 地域福祉室
鶴が台団地では、マニュアルを作成して、災害時にも活用できるようにしたい。この公園には、災害時の生活に役立つ設備が設けられています。

ミッション③ 湘北地区ボランティアセンター
湘北地区ボランティアセンターに行き、どのような活動を行っているか取材せよ。

ミッション④ ミッション
車いすで中学校へ帰せよ。乗る人と押す人は、途中で交代しながら、全員が体験せよ。

環境・防災ステーション利用方法

- 花壇
- コンポスト
- ソーラ照明灯
- 防災トイレ
- かまどベンチ
- 手廻しポンプ

かまどベンチ
ベンチの座板をはずすと、煮炊きのできる「かまど」として利用できます。

手廻しポンプ
平常時は、花だんの水まきなどに、非常時には生活雑水として利用できます。ただし、この水は飲めません。ハンドルを回すと、少しずつ水が出てきます。

防災トイレ
マンホールのフタを開け、中のテナントを組み立てると、非常用トイレになります。座るところは段ボール箱でできています。

地域の方からの話
鶴が台団地では、マニュアルを作成して、災害時にも活用できるようにしたい。この公園には、災害時の生活に役立つ設備が設けられています。

地域の方からの話
名店街には、シニアサロンがあり、お話しや地域の居場所として提供されています。ちよと名店街の掲示板にもポスターが貼られています。

地域の方からの話
団地内には、手すりや段差をなくしたスロープなど、高齢者にやさしいところもありません。

地域の方からの話
鶴が台団地の中歩き、名店街へ向かえ。移動しながら、高齢者の目線などから見て、団地の魅力と課題を探れ。

地域の方からの話
かつては、お店が立ち並び、にぎやかでしたが、今は空き店舗が多くなりました。

地域の方からの話
まち歩きの際は、中学生自身が、気になるところを写真で記録しました！（写真は、まち歩きマップに使用します。）

地域の方からの話
整備された歩道でも、植栽や傾斜など、車いすにとっては、危険も多い！

地域の方からの話
段差があるところは、うしろ向きで進むと安全！

地域の方からの話
あめ玉もたくさんいただきました！

地域の方からの話
こんな施設があるとは、知らなかった！

地域の方からの話
センター長からの話
湘北地区ボランティアセンターは、地域福祉の拠点としてボランティアによる家事援助・ゴミ出し・買い物代行・草取りなどのサービスを提供しています。災害時には、福祉避難所を備え、役割として使用することも想定しています。

地域の方からの話
まちの中にも、掲示物がたくさんあるな。

地域の方からの話
地震が起こると、倒れそうなアンテナなどもありません。

地域の方からの話
道幅が狭いのに、車の通りが多い。危ない。

地域の方からの話
地震が起こると、倒れそうなアンテナなどもありません。

地域の方からの話
かまどベンチをはずすと、煮炊きのできる「かまど」として利用できます。

地域の方からの話
手廻しポンプは、花だんの水まきなどに、非常時には生活雑水として利用できます。ただし、この水は飲めません。ハンドルを回すと、少しずつ水が出てきます。

地域の方からの話
マンホールのフタを開け、中のテナントを組み立てると、非常用トイレになります。座るところは段ボール箱でできています。

地域の方からの話
鶴が台団地では、マニュアルを作成して、災害時にも活用できるようにしたい。この公園には、災害時の生活に役立つ設備が設けられています。

地域の方からの話
名店街には、シニアサロンがあり、お話しや地域の居場所として提供されています。ちよと名店街の掲示板にもポスターが貼られています。

地域の方からの話
団地内には、手すりや段差をなくしたスロープなど、高齢者にやさしいところもありません。

地域の方からの話
鶴が台団地の中歩き、名店街へ向かえ。移動しながら、高齢者の目線などから見て、団地の魅力と課題を探れ。

地域の方からの話
かつては、お店が立ち並び、にぎやかでしたが、今は空き店舗が多くなりました。

地域の方からの話
まち歩きの際は、中学生自身が、気になるところを写真で記録しました！（写真は、まち歩きマップに使用します。）

地域の方からの話
整備された歩道でも、植栽や傾斜など、車いすにとっては、危険も多い！

地域の方からの話
段差があるところは、うしろ向きで進むと安全！

地域の方からの話
あめ玉もたくさんいただきました！

地域の方からの話
こんな施設があるとは、知らなかった！

地域の方からの話
センター長からの話
湘北地区ボランティアセンターは、地域福祉の拠点としてボランティアによる家事援助・ゴミ出し・買い物代行・草取りなどのサービスを提供しています。災害時には、福祉避難所を備え、役割として使用することも想定しています。

地域の方からの話
まちの中にも、掲示物がたくさんあるな。

地域の方からの話
地震が起こると、倒れそうなアンテナなどもありません。

地域の方からの話
道幅が狭いのに、車の通りが多い。危ない。

地域の方からの話
地震が起こると、倒れそうなアンテナなどもありません。

地域の方からの話
かまどベンチをはずすと、煮炊きのできる「かまど」として利用できます。

地域の方からの話
手廻しポンプは、花だんの水まきなどに、非常時には生活雑水として利用できます。ただし、この水は飲めません。ハンドルを回すと、少しずつ水が出てきます。

地域の方からの話
マンホールのフタを開け、中のテナントを組み立てると、非常用トイレになります。座るところは段ボール箱でできています。

ミッション①

『五郎兵衛コミュニティパーク』へ車で移動し、太陽光発電の使い道について取材せよ。また災害時の活用方法を考えよ



■ NPOの方のお話

市民農園の作物を育てるための水を太陽光発電を使って、井戸でくみ上げています。太陽光発電は、災害時にも使うことができます。



■ NPOの方のお話

太陽光を利用して、クッキーを焼いたり、お米を炊いたりすることもできます！調理するための設備を「ソーラークッカー」と言っています。



太陽光で調理したごはんやお菓子をこっそりいただきました！

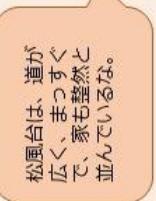


■ NPOの方のお話

災害時使える、ツナ缶を使ったチャンドルや、紙皿なども簡単に作ることができます。

ミッション③

松風台南公園、甘沼地区、鶴が台団地を通り、それぞれの街並みの特徴を探れ。終わったら、中学校へ入る。



松風台は、道が広く、まっすぐで、家も整然と並んでいるな。

甘沼は、道が曲がっていて、ところどころ狭くなっているな。



鶴が台団地は、建物が離れてゆっくりに歩けるな。

ミッション②

松風台は、計画的に家が建てられた住宅地である。車で移動し、松風台の街並み維持の秘密を探れ。



■ 地域の方のお話

災害時には119番がつながりにくく、道路もふさがり、消防隊が到着できない可能性があります。そのため、地域の住民同士で協力してまちを守るように、消火器、水バケツ、移動式ホース格納箱などを備えておき、初期消火活動ができるようにしています。



■ 地域の方のお話

自治会では、マニュアルを作って、災害時の行動や、災害への備えについて地域で共有しています。



*まち歩きの際は、各研究室でも、タブレットで「天ヶ伊いまなぶくん」を見ながら、今いるところの危険などの情報を確認しました。



移動式ホース格納箱
車輪がついているため、甘沼にあるような消防車が入れないような道でも、火災現場に一番近い消火栓まで移動させて消火活動ができます。

このマークがついた赤字のアイデアは、各班が選出したイチオシ企画です！「すぐやる」イチオシ企画については、次回のワークショップでアクションプログラムを作成していく予定です！

良いところ	課題	取組のアイデア！
<ul style="list-style-type: none"> ・ホース格納庫や消火器の箱には使い方が書いてある ・沢山の防災設備があった(消火器 消火栓など) ・住宅が密集していることもあって火災に対する意識が高い ・一時避難場所や避難場所が多い ・かまどベンチがある・防災機能のついた公園がある(お山の公園) 	<p>【設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災資機材の使い方はみんなが知っているか ・消火栓、消火器、ホースの使い方が知られていない ・ホース格納庫に鍵がかかっているため鍵のある人しか使えない ・ホース格納箱の使い方や位置がすぐにわからない <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諏訪神社の道が狭い ・高いブロック塀が狭い道にあり、災害時に道が塞がる可能性有 	<p>👍イチオシ企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴が台のゆるキャラをつくる(子どもを対象にして防災について知ってもらうと同時に保護者も防災意識を高め興味をもってもらおう) ・分かりやすい簡単な広報 ・設備の使い方を簡単に知れるようにする(訓練に参加する以外の方法を考える) ・鶴が台団地のような画期的な防災設備を他地域でも導入し、防災に対する意識を高めていく ・中学生役員を決め、ホース格納箱の鍵を管理する <p>👍イチオシ企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険なくせ！ブロック塀の持ち主に危険性について教える(ブロック塀をやめてもらうため) ・道路をすぐ広くすることは難しい、歩行者のマナー向上 ・地域の人に質問して地域を知る ・質問箱を作る ・道路の街灯をLED化する ・電柱のない道をつくる

良いところ	課題	取組のアイデア！
<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光で災害時にご飯が食べられる ・移動式ホース格納箱、消火器が多い ・太陽光で野菜を作っている ・標高が高く、津波がこない ・鶴が台には自然がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・火災で逃げれない ・道が狭い ・街並みが統一されていない ・消火器をもっと目立つようにする ・ブロック塀が多い ・自然が少ない ・カーブにミラーがない ・避難が遅れる(高齢者が多い) 	<p>👍イチオシ企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感震ブレーカーで火災を防ぐ(避難できる) ・家具の固定などを大人に伝える(効果的) <p>👍イチオシ企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消火器などの設備が分かる地図を作り、チラシに地図や使い方を書いて配る ・防災訓練の内容を充実させる(参加したくなるモノでつる) <p>👍イチオシ企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人と避難訓練を実施して意識を高めるきっかけにする ・耐震補強を実施してもらう

良いところ	課題	取組のアイデア！
<ul style="list-style-type: none"> ・名店街に店が4箇所くらいある ・ポスターで呼びかけをしている ・公園に災害を想定した様々なものがある ・消火栓が色々なところにある(消火器も) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターをもう少し派手にする ・道の凹凸 ・消火栓の周りの線の色が見にくい 	<p>👍イチオシ企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私達の世代が見るようなポスターを発行する(防災訓練、家具の転倒防止、耐震改修、感震ブレーカー) ・ボランティアに中学生も参加する(話し相手、買物の手伝い) ・おじいちゃんと将棋部が将棋をうつ(名店街将棋大会) ・お山の公園に災害のためのものがあることを呼びかける ・中学生でカレーを地域の人にふるまう(カレーを食べる時に防災について呼びかける) <p>👍イチオシ企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体のことを知ってもらうためにポスターを作る ・消火栓を目立つ色に塗る ・家の周囲で避難できる場所を探す ・ボランティアを募集する ・消火器マップをつくる(通学路など) ・車いすが安全に通るために、スロープをまっすぐにガタガタしない道にする

歩いたルートを太く目立つ色で書く！

歩いて見つけた地域資源のシールを貼る！

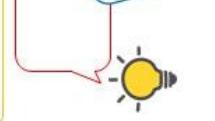
歩いて、感じたこと、見たこと、聞いたことを「良いところ」「課題」としてコメントを書く！

当日pdfで撮影した写真を貼る！

各ポイントで体験したミッションの内容と学んだことをフセンに書いて貼る！

まち歩きでは見れなかつたけれど、まちのことで知っているところ、「良いところ」をたくさん書き込む！

完成！



防災対策室



まちづくり推進室



地域福祉室



▲各研究室がまち歩きで行ったこと、見たことなどは、次頁にて詳細を紹介！

防災対策室

ミッション①
地域の防災拠点である『香川諏訪神社』にある防災設備の使い方をマスターせよ。なお、移動しながらまちの防災対策や危険について探れ。



■地域の方のお話
「香川諏訪神社」は、自治会の「町内災害拠点」として使っています。神社の周辺は、消火器・移動式ホース格納箱を設置してあるので、災害が起きた時のために、こういう場所があるということを知っておいてください。



■消火栓
消火栓はまち中に設置されています。移動式ホース格納箱の中には消火栓を開けるためのハンドルやホースなどが入っています。消火栓のふたは重いので開閉時は注意が必要です。

■防災倉庫
自治会の防災倉庫が公園などに設置されています。



■防火水そう
火災発生時の消火用水を貯めておくための設備です。



■香川自治会館
平常時から地域の人の活動の場となっている施設ですが、災害時に井戸の使用など、様々な役割があります。

ミッション②
ここから南下し、鶴が台回地内の『お山の公園』へ向かえ。移動は、木造家屋が密集している場所を通り、危険箇所を探れ。

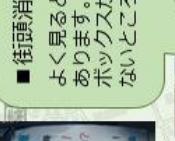


■香川諏訪神社
「香川諏訪神社」は非常に歴史ある神社で、その歴史についてお話がありました。また、当日には、境内からきれいな富士山を望むことができました。



■香川小学校
小学校が避難所になっていて、災害時には、プールの水も使用できます。

■防災訓練の実施
自治会の訓練のボスターを電柱など至る所で見かけました。



■街頭消火器
よく見ると、消火器はまち中にあります。しかし、消火器のホックスがもあせて目立っていないところが多いです。



ミッション③
鶴が台回地の『お山の公園』には、隠された機能がある。どのような機能があるか確認せよ。終わったら、中学校へ戻れ。

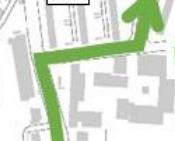


■ブロック塀の倒壊でふさがってしまいうような道路や、消防車が入ってこられない狭い道路、木造家屋が密集している場所がありました。



■生け垣は、倒れる危険性のあるブロック塀に比べて安全。

■ミツシオン③
鶴が台回地の『お山の公園』には、隠された機能がある。どのような機能があるか確認せよ。終わったら、中学校へ戻れ。



■地域の方から、「かまどベンチ」や「防災トイレ」について教えていただきました。詳細は、「地域福祉室のページ」へ

